

# **| 稀産金属(株)・KI Chemical(株) 会社紹介**

- ・秋田県潟上市への進出理由
- ・秋田県と大阪府での活動において気づいた点をご紹介
  - ・日本国内で製造力強化

## 稀産金属株式会社

# 会社概要と事業内容のご紹介

### ● 会社概要



会社名	稀産金属株式会社
設立	昭和34年 7月30日
所在地 (本社・工場)	〒555-0041 大阪市西淀川区中島2丁目13番57号
(東京営業所)	東京都千代田区神田須田町1丁目5番1号 東洋須田 町ビル6F
資本金	35,000,000円
事業内容	稀有金属化合物の開発、製造、販売 薄膜材料の開発、製造、販売 特注による無機薬品の製造 有価金属、廃触媒の回収



## 稀産金属株式会社

# 会社概要と事業内容のご紹介

希少金属、希土類を原料とした総合化学メーカーとして時代を担う先端的な産業に高品質の製品を供給することを目的として1959年(昭和34年)に株式会社稀産金属研究所として発足

1955年		個人企業として発足
1959年		株式会社稀産金属研究所に改組
1978年	6月	有限会社新栄金属化学研究所(設立昭和41年12月)と対等合併、社名を稀産金属株式会社に改称
1983年	4月	本社工場の完成にともない現在地に移転
2000年	12月	品質ISO9001を認証取得
2001年	11月	大阪営業所を本社に統合、且つ東京営業所を開設
2002年	1月	ニュービジネス大賞 特別賞受賞
2008年	2月	KES(環境マネジメントシステム)を認証取得
2009年	12月	薄膜事業を本格操業開始
2017年	9月	資本金3,500万円に増資
2018年	12月	経済産業省の「地域未来牽引企業」に選定される
2019年	11月	令和元年秋の叙勲において代表取締役の末包恵一郎が旭日単光章を受章
2020年	5月	ホームページ【蒸着・薄膜材料】のご案内
2021年	12月	VACUUM 2021 真空展(於:東京ビッグサイト)で開催された光学薄膜研究会セミナーにて『光物性を有する薄膜材料の紹介』をテーマに講演
2024年	11月	秋田県庁および潟上市と立地協定締結式
2025年	4月	TOYOTA BATTERY様より 品質不具合ゼロ5年連続達成 受賞

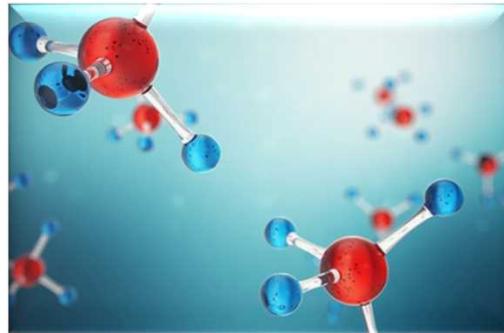
## 稀産金属株式会社 会社概要と事業内容のご紹介

### ●事業フィールド



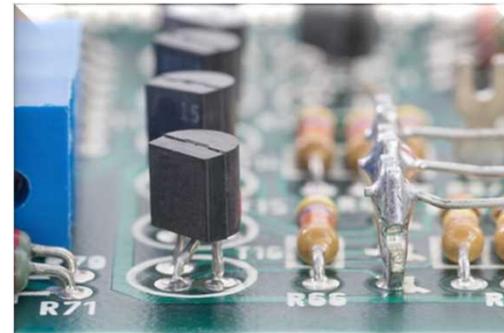
蛍光体・光学材料

- ・各種レンズ用素材・添加材
- ・光学結晶用原料



触媒用物質

- ・排気ガスの浄化など、
- ・環境・省エネルギー関連素材



電子・半導体用材料

- ・透明電極、半導体用材料
- ・コンデンサー内部電極材料



表面処理剤

- ・自動車向け表面処理剤
- ・遮熱、光触媒塗料など

## 化成品事業

# 化成品製品のご紹介

## ● 化成品

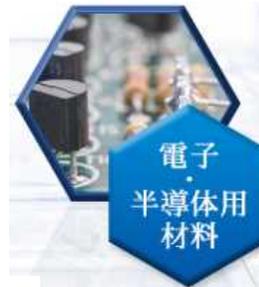
希少金属、希土類を原料として湿式精錬 → 百種類にのぼる金属化合物の製造・販売



### ➤ 蛍光体・光学材料

用途：シンチレータ用結晶、ブラウン管  
ガラス蛍光体

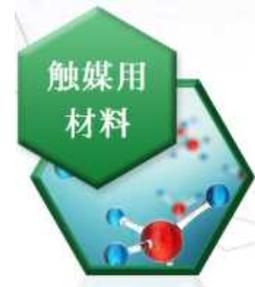
製品：ヨウ化セシウム、臭化セシウム  
水酸化インジウム、二酸化テルル  
硝酸ルビジウム等



### ➤ 電子・半導体用

用途：半導体、MLCC用材料  
ペルチェ素子

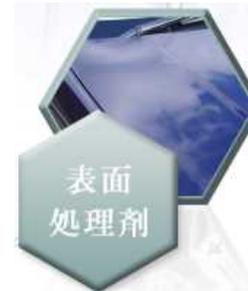
製品：酸化インジウム、塩化インジウム  
酸化ガリウム、塩化ニッケル、  
テルル等



### ➤ 触媒用

用途：有機合成触媒、酸化触媒

製品：六塩化タングステン  
タングステン酸ソーダー  
硝酸ルビジウム、テルル酸等



### ➤ 表面処理剤

用途：釉薬、メッキ、遮熱塗料、光触媒

製品：塩化インジウム  
硫酸インジウム  
モリブデン酸  
キサンコートシリーズ(遮熱塗料  
ATO、光触媒)等

稀産金属株式会社

会社概要と事業内容のご紹介

● 取り扱い製品

 で示した元素の化合物の製造・販売

	1A	2A	3A	4A	5A	6A	7A	8			1B	2B	3B	4B	5B	6B	7B	0
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
1	1 H 水素																	2 He ヘリウム
2	3 Li リチウム	4 Be ベリリウム											5 B ホウ素	6 C 炭素	7 N 窒素	8 O 酸素	9 F フッ素	10 Ne ネオン
3	11 Na ナトリウム	12 Mg マグネシウム											13 Al アルミニウム	14 Si ケイ素	15 P リン	16 S 硫黄	17 Cl 塩素	18 Ar アルゴン
4	19 K カリウム	20 Ca カルシウム	21 Sc スカンジウム	22 Ti チタン	23 V バナジウム	24 Cr クロム	25 Mn マンガン	26 Fe 鉄	27 Co コバルト	28 Ni ニッケル	29 Cu 銅	30 Zn 亜鉛	31 Ga ガリウム	32 Ge ケルゲノウム	33 As ヒ素	34 Se セレン	35 Br 臭素	36 Kr クリプトン
5	37 Rb ルビウム	38 Sr ストロンチウム	39 Y イットリウム	40 Zr ジルコニウム	41 Nb ニオブ	42 Mo モリブデン	43 Tc テクネチウム	44 Ru ルテチウム	45 Rh ロジウム	46 Pd パラジウム	47 Ag 銀	48 Cd カドミウム	49 In インジウム	50 Sn スズ	51 Sb アンチモン	52 Te テルル	53 I ヨウ素	54 Xe キセノン
6	55 Cs セシウム	56 Ba バリウム	57-71 L ランタノイド	72 Hf ハフニウム	73 Ta タンタル	74 W タングステン	76 Os オスマニウム	77 Ir イリジウム	78 Pt 白金	79 Au 金	80 Hg 水銀	81 Tl タリウム	82 Pb 鉛	83 Bi ヒ素	84 Po ポロニウム	85 At アスタチン	86 Rn ラドン	
7	87 Fr フランシウム	88 Ra ラジウム	89-103 A アクチノイド	104 Rf ラザフォードニウム	105 Db ドブニウム	106 Sg シーボグニウム	107 Bh ボーリウム	108 Hs ハッシウム	109 Mt マイタケニウム	110 Ds ダームスタットニウム	111 Rg レントゲニウム	112 Cn コペルニシウム	113 Nh ニホニウム	114 Fl フルロビウム	115 Mc モスコビウム	116 Lv リバモビウム	117 Ts テネシウム	118 Og オガネソン
			L ランタノイド	57 La ランタン	58 Ce セリウム	59 Pr プロメチウム	60 Nd ネオジム	61 Pm プロメチウム	62 Sm サマリウム	63 Eu ユークリウム	64 Gd ガドリウム	65 Tb テルビウム	66 Dy ジスプロシウム	67 Ho ホルミウム	68 Er エルビウム	69 Tm ツリウム	70 Yb イットリウム	71 Lu ルテチウム
			A アクチノイド	89 Ac アクチニウム	90 Th トリウム	91 Pa プロアクチニウム	92 U ウラン	93 Np ネプチウム	94 Pu プルトニウム	95 Am アメリシウム	96 Cm カリフォルニウム	97 Bk バークリウム	98 Cf カリフォルニウム	99 Es アインシュタインニウム	100 Fm フェルミウム	101 Md メンデルレービウム	102 No ノーベリウム	103 Lr ローレンシウム

 色の化合物を取り扱っております。

稀産金属株式会社

## 会社概要と事業内容のご紹介

### ● 主力製品と用途

□ 積層セラミックコンデンサー原料 :  $\text{NiCl}_2$

---

□ 太陽電池、半導体用途 :  $\text{In}, \text{Ga}, \text{In}_2\text{O}_3, \text{Ga}_2\text{O}_3, \text{Te}$

---

□ ペルチェ素子、ガラス添加材、ゴム加硫促進剤用途 :  $\text{Te}, \text{Te}$ 化合物

---

□ スパッタリングターゲット、真空蒸着材料用原料 :  $\text{In}_2\text{O}_3, \text{Ga}_2\text{O}_3$  等

---

■ 真空蒸着材料 光学薄膜用途 :  $\text{ZrO}_2, \text{MgF}_2, \text{I.T.O.}$  等

---

**新規蒸着材料****高い透過率と抗菌・防かび効果を有する薄膜**

**特徴** : 高透過率で抗菌効果を有する薄膜の作製が可能。SiO<sub>2</sub>薄膜の変わりとして反射防止薄膜の低屈折率材料として使用できる新規の蒸着材料

**製品名称** : SiO<sub>2</sub> (AG-H3)

**屈折率** : 1.48(@550nm)

**種類** : SiO<sub>2</sub> + Ag系抗菌材



**外観写真**

**光触媒効果を使わない無機化合物の抗菌薄膜が作製できる蒸着材料**

稀産金属株式会社  
会社概要と事業内容のご紹介

● 品質管理に使用される各種分析・評価装置 製品全般



ICP-AES



ICP-MS



イオンクロマト



原子吸光



酸素・窒素分析計



粒度分布計



SEM-EDS



XRD

稀産金属株式会社  
会社概要と事業内容のご紹介

● 品質管理に使用される各種分析・評価装置 真空蒸着材料



真空蒸着装置 (φ1100)  
蒸発源：電子ビーム  
抵抗加熱



紫外-可視分光光度計



XRD



自動接触角測定装置



SEM-EDS

## 化成品事業 化成品製品のご紹介

### ● 化成品 各種機械のご紹介 (一部)

#### 焼成工程



**焼成炉**  
1500℃まで焼成可能

#### 粉碎工程



**ボールミル**  
製品の粉碎  
数 $\mu\text{m}$ ~数十 $\mu\text{m}$

#### 分散工程



**ビーズミル**  
微粒子の微粉化・分散  
ナノオーダーまで分散

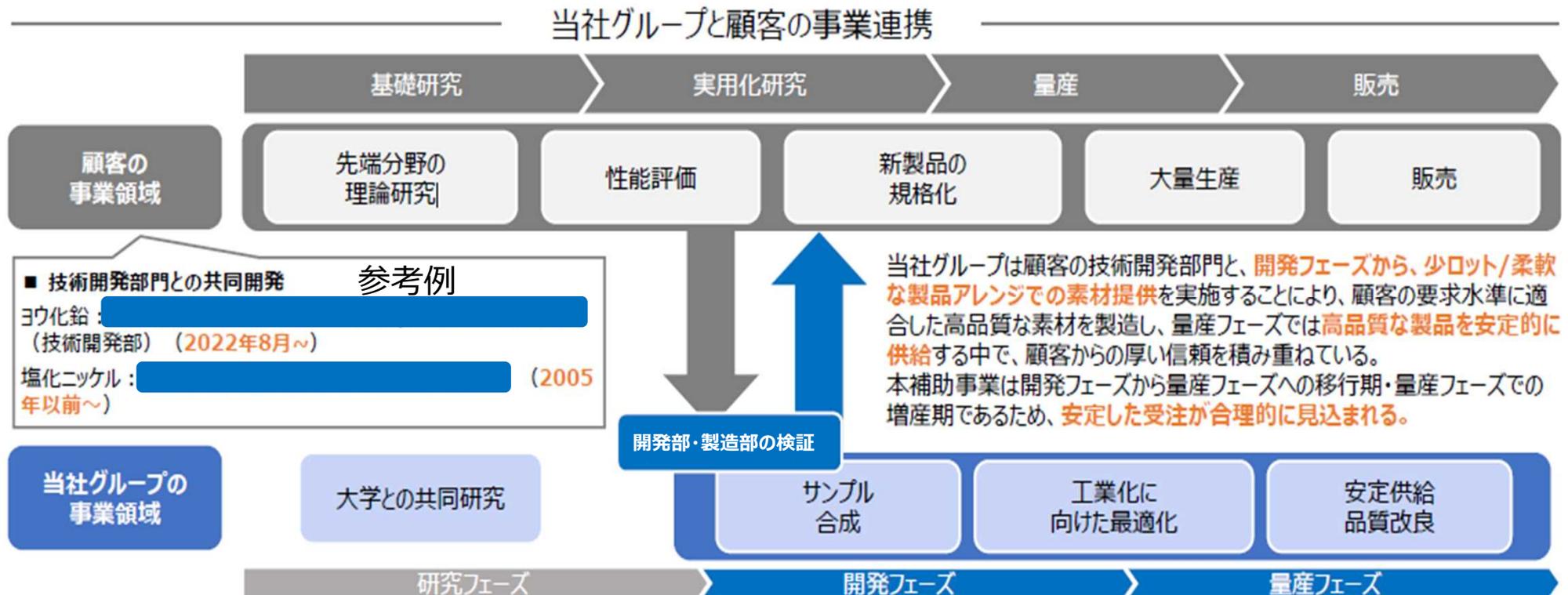
#### 処理設備



**排水処理設備**  
環境に配慮した  
酸・アルカリの処理設備

# 顧客の量産前・開発フェーズから顧客の要求水準に適合するサンプルを探索・供給し、量産段階に移行するため、取引は長期間にわたる。

- ・既存顧客と続いている製品販売、原料購入を行う中で新たな材料の引き合いや新規開発品の相談を受ける。
- ・周期表にある元素の化合物を生産している会社を探された際に、電話・メール等でお問い合わせいただく。
- ・大学との共同研究を行う中で新規製品の開発を行う。
- ・既存の商売以外はほとんどお客様からのお問い合わせからはじまる。
- ・研究会の発表など、開発で取り組んでいる内容の発表を行う。



## 稀産金属株式会社・KI Chemical株式会社

大阪と秋田で製造拠点が2拠点になる。

一部製品の製造拠点を大阪工場から秋田工場へ移管する事で、BCPを考慮した増産体制が構築できる。

### 地域未来牽引企業

#### 稀産金属(株)

稀産金属(株)は、平成30年12月に経済産業省から「地域未来牽引企業」に選定され、地域経済の牽引役として付加価値、経済波及の創出に努めている。また、平成19年には経済産業省から「明日の日本を支える元気なモノ作り中小企業300社」に選定されている。なお、秋田県内の企業（秋田製錬(株)、小坂製錬(株)等）との取引は従前から行っているが、今まで以上に密なコミュニケーションもとれるようになり、秋田県の産業をさらに盛り上げていけると考える。また、秋田工場と大阪工場は一体となって経営を行うことから、秋田工場立ち上げ当初のみならず、恒常的に大阪-秋田間の頻繁な出張や移住・転勤が発生するため、間接的な観点での経済効果が想定される。



稀産金属(株)代表取締役 末包恵一郎

### 過疎地域における人口増、雇用の受け皿としての役割

#### KI Chemical(株)

- 秋田工場の新設により、地域の人材を多く（事業化報告3年目：15名）雇用し、育成していく計画である。秋田県の平均年収は445万円であるのに対し、当社グループの平均年収（1人当たり給与支給総額）は619万円である。秋田工場では大阪工場と同条件での給与水準・評価体系を想定しているため、平均年収は秋田県の平均より39%程度高く、地方創生に資すると考える。※出典：あきたの賃金統計令和6年度版（秋田労働局）
- 「潟上市過疎地域持続的発展計画」によると工場の建設地域である秋田県潟上市は過疎地域と定められている。新工場建設は秋田県や潟上市と立地協定を結んだ際に大きく報じられる等、過疎化に歯止めをかける事業投資として迎えらえている。
- 歴史的に秋田県は採鉱業が盛んであった。現在、鉱山は閉山しており、秋田大学や秋田県立大学等で資源工学/鉱山工学を学んだ優秀な学生がインドネシアやフィリピンに流出している。当社グループが秋田県に新工場を設立し、当地の優秀な学生の雇用の受け皿になることで、我が国としても海外への優秀な人材流出を防止する観点で意義がある。



出典：日経電子版2024年11月18日「大阪の稀産金属、秋田県潟上市に新工場 26年秋稼働」



出典：秋田大学国際資源学研究所HP

### 大阪における雇用創出と賃上げ

#### 稀産金属(株)

大阪工場においては、秋田工場への生産移管により生じた生産余力を活かして塩化ニッケルの増産や新製品開発を計画しているため、新たに従業員が必要であり、2028年3月期に2人、2029年3月期に2人、2030年3月期に3人を雇用する予定である。また、年4.0%の賃上げも計画していることから、雇用の受け皿の創出と賃上げによる地域消費の増加により、地域経済の成長に貢献できると考えている。

稀産金属での問題を秋田県潟上市に進出する事で、問題や課題を解決する事ができ、より飛躍的に企業成長を見込める。

- 広いスペースを活用して生産に関係する法令も順守しやすい設計を行える。
- 県と市の連携が良く、検討段階での課題や問題点洗い出しが短期間で把握できる。  
(秋田県、潟上市の方々の協力のもと、操業に関わる手続きがスムーズに行えました。)
- 秋田空港から潟上市(昭和工業団地)へのアクセスが良い。  
大阪ー東京間(2時間40分)の新幹線移動よりも大阪ー潟上市(昭和工業団地)へのアクセス(飛行機約1時間30分+車移動約50分)の方が移動時間が短い。
- 現地確認の際にお会いした潟上市役所の方々が親切で潟上市の説明も丁寧でわかりやすく、潟上市長自らも企業誘致に積極的に活動されている。

#### ◇ 稀産金属株式会社の大きな課題



稀産金属株式会社・KI Chemical株式会社

# 潟上市昭和工業団地 KI Chemical(株)イメージ図



## 稀産金属株式会社・KI Chemical株式会社

複数拠点で設備を持つことにより災害に強い体制を構築するとともに、サプライチェーンの途絶の観点においても、複数社からの仕入取引を継続して行っていく計画を立てている。これにより、供給安定性と事業継続力を備えたレジリエントな事業構造を構築できる。

- 自然災害や感染症、サプライチェーン寸断等への対応力を高めるため、大阪と秋田の2拠点体制による製造分散を推進している。**有事の際には、大阪または秋田で製造を継続することで、操業の中断を防ぎ、**サプライチェーンの重要な一角を担う存在としての社会的責任を果たしていく。
- 将来的に（積層セラミックコンデンサの需要拡大により）ニッケル需要が増加した場合にも、大阪だけでなく秋田でも生産が可能（増産キャパシティの向上）であり、そのことを取引先とも共有できているため、**取引先の事業継続計画（BCP）にも資するもの**と考える。
- 鉛の調達是中国への依存度が高く、地政学的リスクがあるなかで、複数の調達先を協議をしていることや、信頼のおける国内商社を通じた調達を進めることで、**原料調達のリスク分散**にも取り組んでいる。

以上より、製造拠点と原料調達の両面において冗長性を確保することで、**サプライチェーンの途絶や自然災害等に強い、レジリエントな事業体制を構築**している。

なお、中小企業庁の**事業継続力強化計画の認定**についても、より正確に当社グループの脆弱性と対応策をまとめたうえで、秋田工場、大阪工場ともに、**5年後を目途に取得を目指している。**



## 稀産金属株式会社・KI Chemical株式会社

### 秋田県と大阪府での活動において気づいた点をご紹介

秋田県内の 秋田市－潟上市－男鹿半島付近での状況と潟上市での工場建設を行う上で感じた事として

- 秋田県内電車での移動について、通勤通学の時間帯以外の運行本数が少ない為、車、タクシーでの移動が必要になる。
- 雪が積もった時に、知らない道を走る事が難しく、夜20時以降の車移動は経験のある道以外は移動が難しい。
- 飛行機の運行便数が少なく、飛行機の機体も小さい事から、予定変更の場合の大阪－秋田間移動が時期によっては座席確保が難しい状態になる事がある。
- 冬場の朝方は積雪がどれくらいあるかで、早く起きて出発の準備を行う必要がある(車、駐車場の雪かきなど)。



# 稀産金属株式会社・KI Chemical株式会社

## 日本国内で製造力強化

稀産金属グループは、「100億円宣言」を実施しており、当該宣言に含めた目標を確実に遂行することで、活力とゆとりのある人間社会の実現に貢献する。(2025/6/9申請)

## 100億宣言

## 稀産金属株式会社（製造業）



稀産金属株式会社

- 本社所在地：大阪府大阪市西淀川区中島2-13-57
- 事業概要：稀有金属化合物の開発、製造、販売等
- 常時使用する従業員：70名（グループ全体・2025年3月期）
- 現在の売上高：58億円（グループ全体・2025年3月期）
- 法人番号：6120001049457
- Web：https://www.kisankinzoku.co.jp/

### 企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長  
多湖 哲也

すぐれた技術と想像力により、  
活力とゆとりのある人間社会の実現に貢献する。

弊社は設立以来、半世紀以上に亘り一貫して希少金属、希土類を原料とした総合化合物メーカーとして、時代を担う先端的な産業に高品質の製品・材料を供給してまいりました。先端技術に欠かせないレアメタルをお届けして60年。ユーザー企業様からの高い評価の声を励みに、生産技術と品質管理技術を積み重ねてまいりました。今後も、再生エネルギー産業・通信インフラ産業等を支えるレアメタル化合物等の安定供給を担うことを中長期的な事業戦略の柱に据え、工場の環境整備や従業員の待遇改善への積極的な投資によって、ビジョンを達成していきたいと考えています。

### 売上高100億円実現の目標と課題

#### 実現目標

グループ全体では2030年の売上高100億円達成に向け、次世代産業の発展とともに、年率14%程度の成長を目指す。具体的には以下を主要な目標とする。

- ①レアメタル等を原料とした無機化合物の供給能力の拡大
- ②国内製造・供給体制の構築による我が国の経済安全保障への貢献
- ③地域雇用や産業振興を通じた社会的責任の履行

#### 課題

- 拡大する需要に対応するため、有能な人材確保を含む供給体制の構築
- 引き続き、得意先からの要求に応える高品質の製品を、納期通りに納品すること
- 原材料の仕入リスクや最終品メーカーの生産調整に影響を受けづらいサプライチェーンの構築

### 売上高100億円実現に向けた具体的措置

#### 目指す成長手段

- 新工場の設立による増産体制の構築と新製品製造の開始
- 大阪工場における設備投資による、今後需要拡大が見込まれる製品の増産体制の構築と生産性の向上
- 国内に複数拠点をもちことやサプライチェーンの脆弱性を認識したBCPの作成
- 大阪および秋田における雇用の創出とサプライチェーンを通じた経済波及効果の発揮

#### 実施体制

- 秋田県における新工場の稼働を円滑に実施するため、秋田工場の運営に特化した子会社を設立するとともに、弊社専務取締役を代表取締役に据え、大阪工場との連携を図りながら増産体制を整える。
- サプライチェーンマネジメントにより、川上・川下ともに協力関係を拡大し、仕入リスクや最終製品メーカーの生産調整リスクの低減を図る。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

売上高100億円実現に向けた主力製品

弊社では、特に、再生エネルギー産業や次世代インフラ産業の急拡大を背景に、ヨウ化鉛や塩化ニッケル等の需要拡大を見込み、供給体制の再構築と成長投資を進めている。以下に、弊社製品と最終製品を例示する。

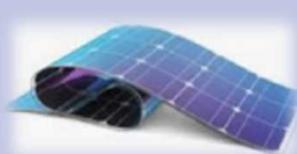
当社グループの主要製品

ヨウ化鉛



最終製品

ペロブスカイト型太陽電池



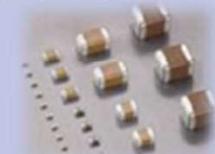
ペロブスカイト型太陽電池とは？

ペロブスカイト型太陽電池は、次世代太陽電池のひとつであり、従来のシリコン系太陽電池に比べて、ゆがみに強く、軽量化が可能であるので、建物の壁面や耐荷重が低い屋根など、従来の太陽電池では設置困難だった場所に設置できる。また塗布や印刷技術で量産できることから、低コスト化が期待できる。

塩化ニッケル



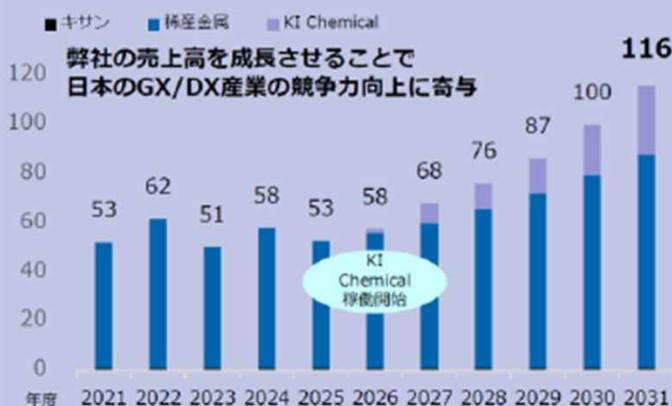
積層セラミックコンデンサ



積層セラミックコンデンサ（MLCC）とは？

MLCCは、スマートフォンやパソコン、車載機器等、小型化・高性能化の求められる電子機器に不可欠な部品である。約10年周期で小型化・高性能化が進んでいるが、現在は米中摩擦によるSCの分断が危惧されるため、素材を含めた日本での安定供給体制の要請が強い製品である。

単位：億円  
売上高100億円実現計画



売上高100億円達成に向けて弊社グループは、ヨウ化鉛及び塩化ニッケルに注力し売上高を拡大させる。特にヨウ化鉛は国策として推し進められ、飛躍的な市場拡大が見込まれるペロブスカイト型太陽電池の素材になるものであり、当社グループ売上高も従前の成長とは格段に異なる飛躍的な成長を見込んでいる。

また、当社グループは大手メーカーから求められる高品質な製品の製造に広え続けてきた。創業から66年を経て蓄積された信頼と実績、技術に自信を持っており、本補助事業を遂行する事で需要に見合う供給を可能とし、売上高を確実に伸長させる。

売上高100億円達成に向けた弊社グループの取組は、秋田や大阪での地域波及効果はもちろん、GX/DXの進展に伴う再生エネルギー産業・通信インフラ産業等の関連素材の安定供給体制を国内で確立するという点において、経済安全保障上の重要性もあり、我が国としても進めるべき計画であると自負している。

事業戦略実現に向けた具体施策として、秋田県湯上市への新工場設立と大阪本社工場の生産体制の再編により増産体制を構築する。

- 具体的には
- 秋田工場を設立し、ヨウ化鉛及び硝酸セシウムの製造拠点を大阪工場から秋田工場に移し、量産体制を構築する。
  - 秋田工場の設立により、大阪工場の生産能力に余裕が生じることに加え新たに設備を導入することにより塩化ニッケルの量産体制を構築する。

# 1. 設備投資に対する 主要4補助金の比較

2025年に公募される補助金の中で中小企業成長加速化補助金は、新たに創設された大型補助金制度です。他の補助金と一線を画するのは、特に「売上高100億円」という具体的な目標を掲げ、高い成長意欲を持つ中小企業を対象としている点です。

	省力化投資補助金（一般型）	新事業進出補助金	成長加速化補助金	大規模成長投資補助金
目的	生産・業務・サービス等の省力化	新市場・高付加価値事業への進出	売上高100億円を目指す	省人化・大規模投資で賃上げ・成長を目指す
対象	中小・小規模企業	中小企業	中小企業	中堅・中小企業
通常上限	8,000万円	7,000万円	5億円	50億円
通常補助率	1/3～1/2 (中小企業)	1/2	1/2	1/3
必要投資額	50万円以上	1,500万円以上	1億円以上	10億円以上
補助事業期間	交付決定日から 18か月以内	交付決定日から 14か月以内	交付決定日から 24か月以内	交付決定日から 2027年12月末まで
書面(一次)審査締切	2025年8月下旬(予定)	2025年7月10日	2025年秋頃予定	2025年7月頃予定

## 2. 申請要件

他の補助金と比べても申請ハードルが高い要件となり、綿密な準備と長期的な視点に立った投資計画書の策定が不可欠です。その他の細かい要件もございますので、詳細はお問合せください。

補助上限	5億円（補助率1/2）
予算総額	3,400億円以内 1次公募採択発表後に2次公募開始予定（3次公募は執行状況による）
補助事業期間	交付決定日から24か月以内
補助対象者	売上高100億円を目指す中小企業 ※ 売上高が10億円以上100億円未満である必要があります。
補助事業の要件	<p>① 「100億宣言」を行っていること</p> <p>② 投資額1億円以上（専門家経費・外注費を除く補助対象経費分）</p> <p>③ 一定の賃上げ要件を満たす今後5年程度の事業計画の策定（賃上げ実施期間は補助事業終了後3年間）</p> <p>④ 日本国内において補助事業を実施すること</p> <p>※ 賃上げ要件とは、補助事業の終了後3年間の「給与支給総額」又は「従業員及び役員の1人当たり給与支給総額」の年平均上昇率が、事業実施場所の都道府県における直近5年間の最低賃金の年平均上昇率以上であることを指します。</p> <p>※ 「給与支給総額」又は「従業員及び役員の1人当たり給与支給総額」どちらで目標を立てるかは申請時に選択いただけます。</p> <p>※ 持続的な賃上げを実現するため、補助金の申請時に掲げた賃上げ目標を達成できなかった場合、未達成率に応じて補助金の返還を求めます（但し、天災など事業者の責めに帰さない理由がある場合を除く）。</p>

# ご清聴ありがとうございました

